

令和2年度 年間指導計画を見直す際の参考資料

小学校 第5学年 「国語（光村図書）」

122時間（70）

週	重点に置く指導事項	単元名	教材名	時間数	留意点			
1	Aエ 知・技(1)ア	言葉の準備運動	教えて、あなたのこと	1	<ul style="list-style-type: none"> 「教えて、あなたのこと」は、状況によって導入で扱うこととし「かんがえるのって おもしろい」の詩では、描かれていることをい浮かべながら音読することを中心の活動とする 記録メモの取り方を紹介し、継続的に取り組ませていく 			
			詩を楽しもう			かんがえるのって おもしろい 続けてみよう		
	Cイエ 知・技(1)オ 知・技(3)オ 知・技(3)ウ	1 登場人物 どうしの関わり をとらえ、 感想を伝え合 おう	なまえつけてよ	4	<ul style="list-style-type: none"> 登場人物それぞれの心情が表れている表現を見つけ、登場人物同の関わりの変化を捉えることを中心の活動とする 「図書館を使いこなそう」では、情報収集の仕方について指導す 			
			図書館を使いこなそう			漢字の成り立ち	1	<ul style="list-style-type: none"> 設問は家庭での課題とし、確認を行う
			春の空			-	<ul style="list-style-type: none"> P.80「夏の夜」で扱う 	
			きいて、きいて、きいてみよう			-	<ul style="list-style-type: none"> 取り扱う時期を★に変更する 	
Bア 知・技(1)ア Aエ 知・技 (1)イ(2)イ 知・技(1)エ		漢字の広場①	-	<ul style="list-style-type: none"> ①②③をまとめて扱う。 				
2		書写	字形	3	<ul style="list-style-type: none"> 漢字の部分どうしの位置や大きさの関係を意識させる 			
3	Cアオ 知・技(2)ア 知・技(3)ウ	2 文章の要 旨をとらえ、 自分の考えを 発表しよう	見立てる 言葉の意味が分かること 〔情報〕原因と結果	6	<ul style="list-style-type: none"> 「〔情報〕原因と結果」を導入で取り扱い、教材文について、筆の主張とそれを支える事例を捉えることを中心の活動とする 			
			和語・漢語・外来語	1	<ul style="list-style-type: none"> それぞれの特徴を理解させる 			
4	Bオ 知・技(1)オ		日常を十七音で	2	<ul style="list-style-type: none"> 俳句が季節を表す言葉を入れた17音で感動を伝えることを確認し、日常生活での感動や驚きを表現することを中心の活動とする 			
			古典の世界（一）	2	<ul style="list-style-type: none"> 音読することを中心の学習とする 			
5	Bエ 知・技(1)カ 知・技(2)イ		〔情報〕目的に応じて引用するとき	2	<ul style="list-style-type: none"> 調べる目的、引用部分、出典を示した引用カードを活用し、情報書き留めるときに気を付けることを理解させる 			
			みんなが過ごしやすい町へ	6	<ul style="list-style-type: none"> 引用の仕方について指導するとともに、お互いの報告文のよいところについて見付ける共有の時間を中心に指導する 			
6	Cオカ 知・技(3)オ Cカ 知・技(1)ク		同じ読み方の漢字	1	<ul style="list-style-type: none"> 設問は家庭での課題とし、後日、確認を行う 			
			夏の夜	1	<ul style="list-style-type: none"> 「枕草子」や季節の言葉、俳句の朗読を味わうことを中心の活動とする 			
7	Cオカ 知・技(3)オ Cカ 知・技(1)ク		作家で広げるわたしたちの読書 カレーライス	3	<ul style="list-style-type: none"> 「作家で広げるわたしたちの読書」において、同じ作家が描いたを読んで紹介し合うことを中心の活動とする 本を読み、概要をまとめるのは家庭の課題とし、後日、確認する 			
			からたちの花	1	<ul style="list-style-type: none"> 表現の工夫に着目させる 			
8	Aイオ 知・技(1)オ Cウ 知・技(1)カ 知・技(1)キ		どちらを選びますか	2	<ul style="list-style-type: none"> 一つの問題を二つの立場から考えることで、よりよい解決方法をつけることを中心の活動とする 			
			新聞を読もう	3	<ul style="list-style-type: none"> 見出しやリード文から書かれている内容を捉え、本文や図表から詳しい情報を読み取ることを中心の活動とする 			
9	Aエ 知・技(1)イ 知・技(2)イ		敬語	2	<ul style="list-style-type: none"> 設問は家庭での課題とし、後日、確認を行う 			
			きいて、きいて、きいてみよう ★ 〔コラム〕インタビューをする とき	4	<ul style="list-style-type: none"> コラムは導入の段階で扱う 教師側で話題を提示し、質問と予想される答えを考えさせた上でインタビューをすることを中心の活動とする 			
10	Cウ 知・技(3)オ 知・技(1)エ	3 物語の全 体像をとら え、考えたこ とを伝え合 おう。	字形	3	<ul style="list-style-type: none"> 正しい筆順で書くことや、部分同士の位置や大きさの関係を意識させる 			
			インタビュー	2	<ul style="list-style-type: none"> すばやく書き留める方法を理解させる 			
11	Cエカ 知・技(1)オ 知・技(1)エ 知・技(1)エ		たずねびと	6	<ul style="list-style-type: none"> 登場人物の行動や情景、心情を表す言葉に着目させ、物語の全体を捉えることを中心とした活動とする 			
			漢字の広場②	-	<ul style="list-style-type: none"> ①②③をまとめて扱う 			
12	Aアオ 知・技(1)オ 知・技(3)ア		漢字の読み方と使い方	2	<ul style="list-style-type: none"> 複数の音をもつ漢字や特別な読み方をする漢字があることを理解させる 			
			秋の夕暮れ	1	<ul style="list-style-type: none"> 「枕草子」や季節の言葉、俳句の朗読を味わうことを中心とした活動とする 			
13	Aアオ 知・技(1)オ 知・技(1)エ		よりよい学校生活のために 〔コラム〕意見が対立したとき には	5	<ul style="list-style-type: none"> 議題は教師側で事前にアンケートをとるなどして明示する 役割を決めて自分の考えを整理したりグループで話し合ったりすことを中心の活動とする 			
			漢字の広場③	1	<ul style="list-style-type: none"> 本時で①②③をまとめて扱う 			
14	書写	筆記具の選択（※1）	3	<ul style="list-style-type: none"> 目的に合った筆記具を使い分けながら書くことを意識させる 				
13	Cウ 知・技(3)オ 知・技(3)オ	4 資料を用 いた文章の効 果を考え、そ れをいかして 書こう	固有種が教えてくれること 〔情報〕統計資料の読み方	5	<ul style="list-style-type: none"> 文章と図表やグラフ、写真を対応させて読むことを中心の活動とする 			
			グラフや表を用いて書こう	4	<ul style="list-style-type: none"> 資料と文章を対応させること、資料から分かることと自分の考えことを分けて書くことを中心の活動とする 			
14	Bイエ 知・技(3)オ 知・技(3)イ 知・技(1)エ		古典芸能の世界—語りで伝える	1	<ul style="list-style-type: none"> 古典芸能についてそれぞれの特色を理解させる 			
			カンジ—博士の暗号解読	1	<ul style="list-style-type: none"> 設問は家庭での課題とし、確認を行う 			
14	知・技(3)イ 知・技(1)エ		古典の世界（二）	1	<ul style="list-style-type: none"> 論語や漢詩を声に出して楽しむことを中心の活動とする 			
			漢字の広場④	-	<ul style="list-style-type: none"> ④⑤⑥をまとめて扱う 			

15	Cオ 知・技(1)オ Bウ 知・技(1)カ	5 伝記を読んで、自分の生き方について考えよう	やなせたかしーアンパンマンの勇氣	3	・アンパンマンの作者の生き方や考え方が表れている言葉を見つけ自分の生き方に取り入れたいところを考えることを中心の活動とする
			あなたは、どう考える	5	・事実と感想、意見を区別して書き表し方を工夫すること、想定し反論に対する考えを入れて書くことを中心の活動とする
16	知・技(3)ア Cエ 知・技(3)ウ 知・技(3)エ	詩の楽しみ方を見つけよう	冬の朝	1	・「枕草子」や季節の言葉、俳句の朗読を味わうことを中心の活動とする
			生活の中で詩を楽しもう	1	・筆記具を選んで、気に入った詩を紙や便箋に書いて楽しむことを心の活動とする（書写と関連させてもよい）
			方言と共通語	1	・それぞれの特徴を理解させる
			漢字の広場⑤	-	・④⑤⑥をまとめて扱う。
17		書写	書きぞめ	2	・書き上げた作品は、観点を定めて、互いの作品を評価し合う時間とする
18	Cアオ 知・技(1)カ 知・技(1)オ	6 事例と意見の関係をおさえて読み、考えたことを伝え合おう	想像力のスイッチを入れよう	6	・事例と筆者の意見がどのように結びついているかを整理しながら読むことを中心の活動とする
			複合語	1	・設問は家庭での課題とし、確認を行う
			伝わる表現を選ぼう	2	・相手と意図をはっきりさせた上で、言葉や表現に気を付けること指導する
19	Bイウ 知・技(1)ア Aイウ 知・技(1)オ		この本、おすすめします	5	・事前に単元の課題を予告し、推薦したい本を準備させておく ・構成を考えた段落分けや、見出しがもたらす効果について考えてくことを中心の活動とする
			提案しよう、言葉とわたしたち	4	・テーマ設定から構成メモを作るまでを授業で行い、スピーチ原稿作るのは家庭での課題とする ・推敲と共有を行うことを中心の活動とする（参考：県教委オンラインサポート授業「提案する文章を書こう」）
20	知・技(3)ウ 知・技(1)エ		日本語の表記	1	・漢字仮名交じり文は、語のまとまりを速く正確にとらえられることを理解させる
			漢字の広場⑥	1	・本時で④⑤⑥をまとめて扱う
		書写	まとめ	3	・5年生のまとめとして、学習したことを生かした作品が書けるように指導する
21	C B 知・技(1)ケ	7 すぐれた表現に着目して読み、物語のみりよくをまとめよう	大造じいさんとガン	6	・1年間の「読むこと」「書くこと」のまとめとし、児童の実態に合わせて、補強が必要と思われる指導事項に重点をあてて指導する

※時間数の精選方法（例）

○3領域のどの指導事項に重点を置くのかを明確にする

・複数の指導事項を万遍なく指導するのではなく、この教材では、どのような力（指導事項）を身につけさせるのかを明確にすることで、授業時間の削減が可能となります。例えば、教材「みんなが過ごしやすい町へ」では、指導事項「引用したり、図表やグラフなどを用いたりして、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫すること」を中心に指導し、教材「あなたは どう考える」では、指導事項ウの「事実と感想、意見を区別して書き表し方を工夫すること」を中心に指導を行います。「読むこと」、「話すこと・聞くこと」も同様です。

○家庭での課題として取り組ませることで、学習を補う

・言葉に関する学習に出てくる設問などは家庭での課題として取り組ませ、後日、確認を行います。「漢字の広場」については既習内容であるので、①②③、④⑤⑥をそれぞれ1時間としてまとめて扱っています。

○読書単元は学校図書館を活用し、言語活動と結びつけ、読書生活を豊かにする

・読書教材については、指導事項が〔知識及び技能〕（3）「我が国の言語文化に関する事項 オ」になりますので、詳細な読みは行わないのが一般的です。言語活動例を参考にして、読書と言語活動を結びつけ、3領域の資質・能力向上させるのが望ましいとされます。教材「図書館を使いこなそう」「作家で広げる私たちの読書」の学習から、学校図書館や地域の施設を活用し、家庭での読書につなげることも可能です。

○書写は取り立てた指導だけではなく、「書くこと」と関連させた指導も行う

・書写の指導に関しては、小学校5学年では年間30時間程度行うものとありますが、光村図書では、報告書を書いた「書くこと」の領域の学習において、例えば報告書のページの表紙の割り付けで文字の大きさや配置配列といった指導事項をおさえることが可能です。（本資料では、書写に取り立てた指導を15時間（50%）で作成しています）

○感染症予防対策を踏まえた学習活動の工夫を行う

・教材文等の音読は、マスクをつけることや大きな声を出さないことを指示します。ペアや少人数での話し合い活動も、マスクや声の大きさなどを配慮して行いますが、教室の状況や児童の実態によっては当分の間控えた方がよいでしょう。また、スピーチやプレゼンテーションなど、相手に向けて話す活動は、一定の距離をとって行います。インビューなどのフィールドワークは、書くことの「情報の収集」と関連させるなど、単元の組み替えを行います。